

## 2004年5月18日 607 電気装置、緩衝装置の不具合



- 2004年11月9日 306 燃料装置の不具合 >
- 2004年9月7日 307 駆動機、燃料装置、緩衝装置の不具合 >
- 2004年8月31日 206 電気装置、車体、駆動機の不具合 >
- 2004年3月18日 607 電気装置、緩衝装置の不具合 >
- 2004年1月15日 206、307、406 イグニッションキーの不具合 >
- 2004年1月15日 206、307、406 制動装置、電気装置の不具合 >

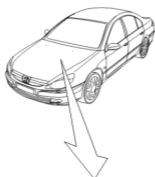
### リコール対象車の主要要件

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	駆動機の型式(燃料装置(CC))
ブジョー	不明	607	普通・乗用	箱型	4H(2,179cc)
	GF-ZBL4	607			
	GF-ZB				
	GH-ZBFX	607 607 セザンV6 607 スポーツ			

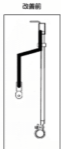
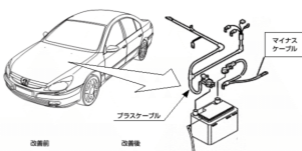
### リコール届出一覧表

リコール届出番号	外-1120
届出者の氏名又は名称	ブジョー・ジャポン株式会社 代表取締役 リチャード・ジョー マレー (製作所: フランス共和国) (製作者名: オートモービルズ ブジョー) (問い合わせ先: 0120-840-240)
不具合部位(部品名)	1. 2. 電気装置 3. 緩衝装置
基準不適合状態にあると認められる構造、装置又は性能の状況及びその原因	1. バッテリーケーブルとエアコンディショナーの冷暖房配管のパイプ間の隙間が狭いため、そのままの状態では走行を続けると、干渉する事がある。そのため、走行時の振動によりバッテリーケーブルの空襲が激化し、短絡、配線の発熱が生じ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。 2. バッテリーケーブルにヒューズの装着されていないものがあり、走行時の振動により電源回路に短絡等の故障を生じると配線が発熱し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。 3. リヤサスペンションのロアアームを製作する際の溶接が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、過大入力があった際にロアアームが変形し、走行の安定性を損なうおそれがある。
改善措置の内容	1. 全車両、エアコンディショナーの当該パイプに緩衝材としてフェルトシートを巻き付ける。 2. 全車両、バッテリーマイナスケーブルを対策品と交換する。 3. 全車両、リヤサスペンションのロアアームを良品と交換する。
不具合件数	1. 2. 3月0件 (事故の発生 1. 2. 3月0件)
発見の動機	1. 2海外市場での品質情報による。3製造工場での品質検査による。
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知するための措置	使用後: タイレトメールにて通知する。 自動車分解整備事業者: 日整連発行の機関誌に掲載する。 対策実施済車両: 対策実施済車両には、後述ガラス左下角に外-1120のスタッカーを貼付する。

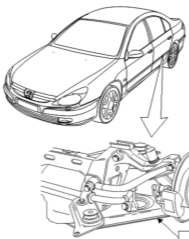
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ブジョー	不明	607 607 セザンV6 607 スポーツ	VF3904HX92004623 平成12年8月31日	1台	1及び2の対象台数1台
	GF-ZBL4		VF3903FZ92001615~ VF3903FZ920056403 平成13年4月16日~平成14年3月11日	4台	1及び2の対象台数4台
	GH-ZBFX		VF390DXFX92005466 平成15年1月31日	1台	1のみ対象台数1台
	GF-ZB GH-ZBFX		VF390XFXE92001520~ VF390XFXE92005470 平成12年9月4日 ~平成14年12月24日	423台	1及び2の対象台数1台 10のみ対象台数39台 1. 2. 3の対象台数40台
合計	計3型式	計3車種	(輸入期間の全体の範囲) 平成12年8月31日 ~平成15年1月31日	429台	1及び2の対象台数6台 10のみ対象台数39台 1. 2. 3の対象台数40台



注:  内は対象対象部品を示す



注:  内は交換対象部品を示す



注:  内は交換対象部品を示す

### 不具合発生箇所

- バッテリーケーブルとエアコンディショナーの冷暖房配管のパイプ間の隙間が狭いため、そのままの状態では走行を続けると、干渉する事がある。そのため、走行時の振動によりバッテリーケーブルの空襲が激化し、短絡、配線の発熱が生じ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。
- バッテリーケーブルにヒューズの装着されていないものがあり、走行時の振動により、電源回路に短絡等の故障を生じると配線が発熱し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。
- リヤサスペンションのロアアームを製作する際の溶接が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、過大入力があった際にロアアームが変形し、走行の安定性を損なうおそれがある。

### 改善内容

- 全車両、エアコンディショナーの当該パイプに緩衝材としてフェルトシートを巻き付ける。
- 全車両、エアコンディショナーの当該パイプに緩衝材としてフェルトシートを巻き付ける。
- 全車両、バッテリーマイナスケーブルを対策品と交換する。
- 全車両、リヤサスペンションのロアアームを良品と交換する。

### 識別表示

- 当該パイプ上部に、黄色のペイントでマークを表示する。
- マイナスケーブルに、黄色のペイントでマークを表示する。
- ロアアーム固定ボルトに、黄色のペイントでマークを表示する。